

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・販売台数は小型車を中心に増えてきており、やや上向き傾向にある。
		乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・景気とは関係なく、台風に伴う高潮水害による買換え特需があった。
		乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・新型車効果で受注台数が増えている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・家族、グループでの海外旅行、国内温泉旅行や東京へのホテルパック航空券などの売上が順調に推移した。また、ハネムーン、秋の海外旅行の相談も多かった。昨年同時期と比較して、海外旅行の実績は多くなっている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・季節が涼しくなったこともあるが、土日、祝日等は予約率が大変良い状況になっている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・郊外店のシネコンに客が流れ、来街客が非常に減っている。その分消費も落ちている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・紳士服売場に関しては依然として厳しい状況が続いている。売上高を見ると3か月前は前年比70%で推移していたが、9月に入ってリニューアルを行った関係で、固定客を中心に前年比90%まで回復した。しかし、今なお消費税総額表示が売上に非常に響いている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・ファッション商品については一部の流行品を除いて、必要な時期にならないと動かない状況が続いている。例えば、ブーツなどは前年比50%にとどまっており、本当に寒くなり、必要にならないと買わないという客の様子がうかがわれる。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・1点当たりの販売単価は上がってきたが、逆に、買上点数が減っており、全体の売上は変わらない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・今の客は日替特売の安い商品をまとめ買いをしていくため、それ以外の日はほとんど売れない。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・台風の影響により、ポイントセールなどのチラシが功を奏さず、苦戦した。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・災害での特需により白物家電の売上は大幅に増えているが、全体的にはパソコンの伸び悩みもあり、変わらない。
		スナック（経営者）	単価の動き	・高級な銘柄の酒の注文が出ないことに加え、つまみとか食事をとる品数も少なく、客単価が上がらない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・客が少し増えている感じはあるが、販売量は増えていない。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・予約状況はここ数か月変わらず、利用客の単価も上がってこない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらず夜の客が少ない。近いところばかりで中長距離が少なく、客単価の伸びが悪い。	
	やや悪く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・盆や帰省などでお金を使った様子で、現在は消費を控えている傾向がうかがえる。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月と比較して、売上高及び来客数ともに前年を下回った。ブランド商品群は前年を維持したが、総じて他の商品は前年割れとなった。特にファッション関連や、美術・宝飾品などの商品群の落ち込みが目立った。
コンビニ（エリア担当）		お客様の様子	・8月、9月は、台風や雨が多かったことにより、来店客数が減った。消費も冷え込んでいる様子で客単価も下がり、トータル的に今一つ売上が伸びていない。	
衣料品専門店（経営者）		販売量の動き	・残暑の影響で秋物の立ち上がりが遅く、ニットやジャケットの動きが例年より悪い。前年割れの店舗が多く、3か月前に比べても10%強売上が低下している。	

		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は残暑がきつかったが、気温が下がったときには秋物がそこそこ売れ、全体的には立ち直りの感があった。しかし、台風被害があって4日ほど店を休んだことから、全体的には厳しかった。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・県内に同クラスのディスカウントストアができたため、販売量、単価ともに低下している。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・今月は台風の影響で来客数が減った。特に新規の客が少なかった。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・台風上陸の影響によりキャンセルが相次ぎ、売上が厳しいものとなった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・9月は台風の接近及び上陸が異常に多かったことから、利用客が減少した。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・原材料の単価が上がっており、今までと同じ利益率を確保するのは難しい。
	悪くなっている			
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・2、3か月前と比べると、新商品が出たので売上が伸びている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・災害復旧の影響もあり、地域差はあるものの大型クレーンはおおむね高稼働となっており、それが受注増につながっている。
	変わらない	輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・7月、8月は厳しい暑さの影響で、飲料関係や家電製品等を中心に大きく荷物が動いたが、9月になると再び数か月前の足踏み状態に戻った感がある。
		通信業（営業担当）	それ以外	・システム関連の設備投資については、業種によって慎重派と積極派に大きく二極化している。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・主要産業である建設土木はふるわず、また、不動産の動きも鈍く、賃貸物件の稼働率は低下している。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・猛暑とアテネオリンピックで大幅に売上げがあった業種も、9月はその反動なのか、勢いが止まった様子が見え始める。しかし、建築業者は集中的に来襲した台風の影響で、5、6か月先まで仕事は埋まっているようである。
	やや悪くなっている	化学工業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・原材料の値上げにより製品価格の修正を行っているため、様子見による買い控えが出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の受注が一巡し大きな受注が途切れたため、補修などの小さな仕事を中心となってきた。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・当社が扱っているコンピュータ関連の製品やパソコンの価格はどんどん下がってきている。
輸送業（支店長）		受注量や販売量の動き	・相次ぐ台風と原油価格の高騰で、出荷や生産活動に影響が出て、取扱高は前年を大きく割っている。	
公認会計士		取引先の様子	・各取引先の資産表等を見ると、8月ぐらいから収入が落ち込んできている。特に、景気に敏感なタクシー会社の収入が落ち込んできている状況を見ると、景気はどうやら足踏み状態から、若干悪くなっているのではないかと判断される。	
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・今月は客からの派遣要請が前年比で20%増となり、企業の派遣利用の動きが非常に活発になってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年に比べ12か月連続して増加した。派遣求人は一般事務及び機械、情報技術の求人が増加している。建設業では現場作業員の求人は必要最小限の補充にとどまり、土木技術者、営業関係を中心とした求人が多い。また、住宅、リフォーム関係の求人が増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数そのものはやや増加傾向にあるものの、相変わらず派遣請負業等の求人が中心であり、正社員の求人数そのものは横ばい、またはどちらかと言えば減少傾向にある。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は建設業での減少が大きく、前年同月比で3.9ポイントのマイナスとなった。新規求職者は前年同月比で1割近く増加しているが、有効求職者は8か月連続で減少しており、その結果有効求人倍率はほぼ横ばいとなっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・求人数は例年並みに推移しているが、大卒の採用者は停滞のまま変化がみられない。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（従業員）	求職者数の動き	・求人情報の掲載数はそこそこあるが、それに対しての応募者数の数が少なくなっている。
悪くなっている	-	-	-